

平成 30 年第 12 回青森市教育委員会定例会 会議録

1 開会日時

平成 30 年 12 月 25 日（火）午後 2 時 1 分

2 閉会日時

平成 30 年 12 月 25 日（火）午後 2 時 23 分

3 会議開催の場所

教育研修センター 5 階 大研修室

4 出席者

- |              |           |
|--------------|-----------|
| (1) 教 育 長    | 成 田 一 二 三 |
| (2) 教育長職務代理者 | 佐 藤 克 則   |
| (3) 委 員      | 石 澤 千 鶴 子 |
| (4) 委 員      | 斎 藤 誠 子   |
| (5) 委 員      | 池 田 享 誉   |
| (6) 委 員      | 大 嶋 憲 通   |

5 事務局出席職員

- |                  |         |
|------------------|---------|
| (1) 教 育 部 長      | 工 藤 裕 司 |
| (2) 理事教育次長事務取扱   | 佐々木 淳   |
| (3) 浪岡教育事務所長     | 山 内 秀 範 |
| (4) 参事総務課長事務取扱   | 奥 崎 文 昭 |
| (5) 参事学校給食課長事務取扱 | 佐々木 祐 子 |
| (6) 文化学習活動推進課長   | 奥 崎 和 彦 |
| (7) 中央市民センター館長   | 渡 邊 薫   |
| (8) 市 民 図 書 館 長  | 伊 藤 慶 尚 |
| (9) 学 務 課 長      | 作 間 和 博 |
| (10) 指 導 課 長     | 須 藤 隆 文 |
| (11) 浪岡教育事務所教育課長 | 兼 平 慶 治 |

6 会議に付議された案件

(1) 議案

なし

(2) 報告

- |                              |               |
|------------------------------|---------------|
| ①寄附採納について                    | (教育委員会事務局総務課) |
| ②平成 30 年度成人式の実施について          | (文化学習活動推進課)   |
| ③青森市民図書館の年末及び 1 月の開館時間変更について | (市民図書館)       |
| ④教職員の多忙化解消に関する指針について         | (学務課)         |
| ⑤青森市学校図書館読書感想文コンクールの結果について   | (指導課)         |

7 会議録署名委員

- (1) 池田 享 誉
- (2) 大嶋 憲 通

## 8 会議の概要

午後2時1分に教育長が開会を宣言する。会期を1日とし、会議録署名委員を前項7のとおり指名する。

審議議案はなく、5件の事案を報告し、午後2時23分に閉会した。

## 9 会議の状況

### (1) 議事

#### ○成田教育長

本日、審議議案はありません。

### (2) 報告

#### ○成田教育長

次に、報告事項に入ります。

今回の報告事項は5件となっております。

それでは、報告1「寄附採納について」事務局から説明をお願いします。

#### ○総務課長

寄附採納について御報告申し上げます。

お手元の資料「寄附採納一覧（平成30年11月1日～11月30日）」をごらんください。

小学校の寄附採納につきましては、公益財団法人日本一輪車協会様から一輪車、筒井小学校父母と教師の会様からスチーム加湿器、橋本小学校6学年PTA様からCDプレイヤーの寄贈申し出があり、中学校の寄附採納につきましては、館岡貞子様からステージ用幕一式及び大型プリンター1台、南中学校父母と教師の会様からCDプレイヤーの寄贈申し出がありました。

また、小・中学校以外の寄附採納につきましては、青森中央ライオンズクラブ様から大野市民センターほか13施設に対し和室用座椅子の寄贈申し出があり、受領いたしました。

このたびの御厚意に対し、心から感謝いたしますとともに、有効に活用させていただくこととしております。

以上でございます。

#### ○成田教育長

ただいまの事務局の説明に御意見、御質問等はありませんか。

#### ○斎藤委員

浪打中学校への寄附については、例えば、PTA会長の名前などでなく、個人の方から学校のほうに寄附があったということによろしいですか。

#### ○総務課長

個人の方であります。

#### ○斎藤委員

浪打中学校に寄附をしたということではありますが、このような場合は、教育委員会のものになるという認識でよろしいでしょうか。

#### ○総務課長

各学校備品とし、教育委員会で備品登録管理しております。

#### ○成田教育長

そのほか、御意見、御質問等ありますでしょうか。

～ なし ～

#### ○成田教育長

それでは、次に、報告2「平成30年度成人式の実施について」事務局から説明をお願いします。

#### ○文化学習活動推進課長

平成30年度成人式の実施について御報告申し上げます。

委員の皆様には、御案内状を既に送付させていただいておりましたが、改めて、今年度の成人式の実施について御報告いたします。

配付資料をごらんください。

開催日時につきましては、平成31年1月13日の日曜日、青森会場は11時から14時まで、浪岡会場は14時から17時までであり、場所につきましては、青森会場はリンクステーションホール青森、浪岡会場は青森市中世の館で開催いたします。

本年度の成人式の対象者は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方であり、平成30年12月5日現在では、青森地区が2437人、浪岡地区が135人、合わせて2572人となっております。

本市の成人式は、毎年、公募により集まった学生や若手の社会人により構成される成人式実行委員会が、企画から運営までを行っておりますが、本年度は8月からテーマや式典の内容等の検討が進められ、現在、新成人9名を含む17名のメンバーにより、協議が重ねられているところであります。

今年度のテーマは、「Re: start」とし、平成が幕を閉じ、新しい時代が始まる節目に成人式を迎えた新成人が、将来に向けて改めて方向性を考え、新たな気持ちで進み、またここからさらに活躍、「Re: start」できる人になってほしいとの願いが込められ、設定されております。

成人式の内容であります。再会の広場、式典、アトラクションの3部構成となっており、再会の広場では、卒業当時の恩師からのメッセージや校舎の写真を展示し、多くの新成人が久しぶりに会う友人と語りいながら、中学生時代を懐かしむ場として、中学校ごとのパネルを設置するほか、本年度新成人が生まれてから20年間の出来事などをまとめたパネル展示などを予定しております。

式典におきましては、新成人代表等の入場によるオープニングの後、青森市長から「はたちに贈る言葉」、新成人代表による「誓いの言葉」、そして、青森市議会議長から「励ましの言葉」をいただくこととしております。

また、アトラクションにつきましては、青森会場はコーラスグループによるライブのほか青森大学新体操部による演技など、浪岡会場ではアイドルグループによるパフォーマンスや、恩師からのメッセージなどを実施する予定としております。

委員の皆様には、年始のお忙しい時期ではありますが、当日はぜひ御出席いただき、新成人の門出を祝福していただければ幸いに存じます。

以上でございます。

#### ○成田教育長

ただいまの事務局の説明に御意見、御質問等はありませんか。

#### ○大嶋委員

「その他」として、ラインメールFC及び消防団員募集のPRブースの設置とありますが、毎年ふえてきたときにどうするのかとったりするんですが、この設置に関しては、ルールの全然問題ないんですか。

**○文化学習活動推進課長**

スペース的に可能であれば、対応していきたいと考えております。

**○成田教育長**

そのほか、御意見、御質問等ありますか。

～ なし ～

**○成田教育長**

それでは、次に、報告3「青森市民図書館の年末及び1月の開館時間変更について」事務局から説明をお願いします。

**○市民図書館長**

青森市民図書館の年末及び1月の開館時間変更について御報告いたします。

お手元の資料をごらんください。

青森市民図書館は青森市民図書館条例施行規則により、開館時間を午前10時から午後9時までと規定しておりますが、本年12月31日の大みそかの開館時間につきましては、アウガ管理組合管理者である青森市長、小野寺晃彦より、アウガ全館を午後5時で閉館したい旨の協力要請が本年もありましたことから、開館時間を例年どおり午後5時までとすることといたしました。

また、来年1月につきましては、学生の自主学習等を初めとする利用者のニーズに配慮し、例年どおり、午前9時に開館することといたしました。

なお、青森市民図書館の開館・閉館時間の変更につきましては、「広報あおもり」12月15日号及び1月1日号、青森市ホームページ及び青森市民図書館ホームページへの掲載、並びに青森市民図書館内や関係機関等へのポスター掲示等により周知を図っているところです。

以上でございます。

**○成田教育長**

ただいまの事務局の説明に御意見、御質問等はありませんか。

～ なし ～

**○成田教育長**

それでは、次に、報告4「教職員の多忙化解消に関する指針について」事務局から説明をお願いします。

**○学務課長**

教職員の多忙化解消に関する指針について御説明申し上げます。

資料の1ページ目をごらんください。

教育委員会では、青森市学校多忙化解消委員会を設置し、青森市学校多忙化解消検討会議並びに学校管理運営部会、メンタルヘルス部会及び部活動部会の3つの部会において、教職員の多忙化解消に関する指針の内容を検討してまいりました。

本年5月には、第1回青森市学校多忙化解消検討会議を開催するとともに、第1回青森市立小・中学校臨時校長会議において指針の素案について説明し、素案に基づく取り組みを各学校に指示しました。

また、7月には第1回青森市学校多忙化解消委員会全体会議及び3部会を開催し、素案の見直し方法について共通理解を図り、8月に開催した第2回検討会議においてアンケートの結果を説明し、指針等の見直しに役立てることとしました。

さらに、11月に開催した第3回検討会議において指針等の見直しを行い、その後の全体会議において最終確認を行いました。

次に、教職員の多忙化解消に関する指針の概要について御説明申し上げます。

教職員の多忙化解消に関する指針は8つあり、指針1は目的として、教職員がやりがいや使命感を持って校務に専念できるよう、学校組織の活性化を念頭に置いた多忙化解消に努めるとともに、教職員の心身の健康維持を図ることを目的とすること、指針2は時間外勤務の上限の目安として、やむを得ず勤務時間を超えて働く場合は、1日につき3時間、月45時間を超えない程度とすること、指針3は、時間外勤務が継続される場合は、教職員の健康への配慮を行うこと、指針4は時間外勤務について、校長はあらかじめ計画を提出させ、勤務時間の管理に努めること、指針5は時間外勤務の縮減に向けた改善策を講じること、指針6は学校閉庁日を設定すること、指針7は健康障害防止対策を講じること、指針8は校内多忙化解消委員会の設置として、学校ごとに校長が校内多忙化解消委員会を設置し、毎月の定期開催により、自校の現状把握に努めるとともに時間外勤務縮減に向けた対策を協議し、実践することとしており、教職員の多忙化解消、健康維持を図るための具体的な内容を示しております。

教育委員会といたしましては、今後、12月27日開催予定の第2回青森市立小・中学校臨時校長会議において、指針を配付し説明するとともに、各学校には、1つに、教職員の多忙化解消に関する指針について、教職員相互の共通理解を図ること、2つに、校内多忙化解消委員会について、校内組織への位置づけを明確にし、実効性のある取り組みを進めることについて指示することとしております。

報告は以上です。

#### ○成田教育長

ただいまの事務局の説明に御意見、御質問等はありませんか。

#### ○石澤委員

校内多忙化解消委員会の設置を学校ごとに設置するという説明がありましたが、この委員会の設置によって、報告書の作成や校務事務などの作業がふえて本末転倒にならないように配慮した上で実践していただくことを要望いたします。

#### ○学務課長

要望については、確かに承りました。

やはり、学校現場で実際にどのような解消ができるのか、学校のどこに課題があるのかということや学校自身に考えてもらうことが一番大切なのではないかということで、この校内多忙化解消委員会を設けてもらうことにいたしました。

#### ○成田教育長

そのほか、御意見、御質問等ありますか。

#### ○池田委員

今、報告していただいた中の健康障害防止対策のところ、「月100時間を超える時間外勤務または連続した2カ月間の月平均が80時間を超えた教職員から申し出があった場合」という文言がありますが、この申し出は、当該時間を超えたということを申し出た場合なのか、あるいは、教職員から健康相談医による健康相談を受けたいということを申し出た場合なのか、どちらの場合でしょうか。

#### ○学務課長

当該時間を超えたということではなく、面談を受けたいという相談の申し出があった場合となっております。

#### ○池田委員

基本的には、校長先生が、時間外勤務で月45時間を超えないように配慮しながら学校運営をするとともに、どの教職員が何時間くらい時間外労働をしているかということ把握し、また、教育委員会としてもそれを定期的に把握した上で、さらに本人からの申し出

があった場合は健康相談を受けさせるということではありますが、できれば、月 100 時間を超えて本人からの申し出があるということにならないような形で運用していただきたいと思えます。

○成田教育長

そのほか、御意見、御質問等ありますか。

○佐藤委員

この問題は、体を壊す先生方がふえてきたということが根本になっていると思えます。

ただ、確かに多忙化になっていると思えますけれども、あわせて体を壊す原因の 1 つはストレスだと思えますので、多忙化という仕事の量の問題とストレスという質の問題の両方をもって先生方の健康管理に努めていただきますよう、よろしく願います。

○成田教育長

そのほか、委員の皆様から御意見、御質問等ありますでしょうか。

～ なし ～

○成田教育長

それでは、次に、報告 5 「青森市学校図書館読書感想文コンクールの結果について」事務局から説明をお願いします。

○指導課長

平成 30 年度青森市学校図書館読書感想文コンクールの結果について御報告いたします。配付資料をごらんください。

応募数につきましては、読書感想文部門は、小学校 1577 点、中学校 1576 点、合わせて 3153 点、読書新聞部門は、小学校 2608 点、中学校 414 点、合わせて 3022 点となっております。両部門の合計応募総数は 6175 点となり、これまで 14 回の中で最高を数えております。

また、読書活動推進賞部門には、全小・中学校がエントリーしております。

次に、審査結果ですが、読書感想文部門と読書新聞部門については、10 月 18 日に事務局から依頼した 6 名の元小・中学校教員に審査をしていただき、合わせて 53 名が受賞となっております。

最優秀賞の受賞者のみ御報告いたしますと、読書感想文部門におきましては、低学年の部では、浦町小学校 2 年、北畠顕彦さん、中学年の部では、篠田小学校 4 年、葛西陽太さん、高学年の部では、新城中央小学校 6 年、吉田大さん、中学校の部では、甲田中学校 1 年、長谷川咲楽さんとなっております。

読書新聞部門におきましては、小学校の部では、小柳小学校 6 年、米澤凜さん、中学校の部では、古川中学校 2 年、園田楓加さんとなっております。

また、読書活動推進賞部門におきましては、1 次審査を通過した小学校 3 校、中学校 2 校の計 5 校が、自校の読書推進にかかわる活動のプレゼンテーションを行い、その結果、戸山西小学校が読書活動推進最優秀賞、ほかの 4 校は読書活動推進優秀賞となりました。

表彰は、読書感想文部門及び読書新聞部門は各学校において行うこととし、読書活動推進賞部門は先日の審査会において行いました。

今後、受賞校・受賞者につきましては、来年発行の「広報あおもり」1 月 15 日号や、2 月に発行する「青森市子ども読書活動推進だより 青い森の子ども読書」に掲載します。

また、受賞作品等による「第 14 回青森市学校図書館読書感想文コンクール 入選作品集」を作成し、各学校や公共機関に配付したり、教育委員会主催の学校図書館担当者研修講座において内容を紹介したりするなどして、児童生徒の読書啓発、学校図書館運営の活性化に努めてまいります。

以上でございます。

○成田教育長

ただいまの事務局の説明に御意見、御質問等はありませんか。

～ なし ～

(3) その他

○成田教育長

その他、本日の案件以外に教育委員の皆様から何かありましたら、御発言ください。

～ なし ～

○成田教育長

それでは、事務局から何かありますか。

～ なし ～

○成田教育長

これにて本日本日予定していた議案の審議等は全て終了いたしました。

以上をもちまして、平成30年第12回青森市教育委員会定例会を終了いたします。

平成 30 年 12 月 25 日開催の平成 30 年第 12 回青森市教育委員会定例会の会議録を作成した。

平成 31 年 1 月 17 日

書記 横内 智 徳

上記のとおり相違ないことを認め署名する。

平成 31 年 1 月 17 日

署名委員 池 田 享 誉

署名委員 大 嶋 憲 通